



昭和 41 年ごろ
の羽村駅！現
在の西口だりん

特集

明治 150 年

羽村のあゆみ



P1 明治 150 年 羽村のあゆみ

P5 市の仕事についてお知らせします

P7 お知らせ

P20 情報アラカルト (20 ページから右へ読み進めてください)

P22 こどものページ

愛情ギュッとず〜っとはむら♡



明治150年 羽村のあゆみ

平成30年（2018年）は、明治元年（1868年）から満150年の年に当たります

明治以降、日本は近代国家への第一歩を踏み出し、明治期に多岐にわたる近代化への取組みが行われ、国の基本的な形が築き上げられていきました。この150年の間、羽村はどのようなあゆみを見てきたのでしょうか。羽村の150年のあゆみを見ていきましょう。

【世の中のできごと】

【羽村市のできごと】

明治元年	明治元年	明治元年
4年	11月	羽村、五ノ神村、川崎村は、廃藩置県（改置府県）により神奈川県に入る
6年	2月	一峰院、禅福寺、禅林寺を仮校舎として小学校教育開始
8年	6月	羽村、五ノ神、川崎、福生、熊川の五か村が合併し、多摩村となる
10年		
11年	11月	多摩郡が東・西・南・北に四分、市域は西多摩郡となる
15年	6月	多摩村が解散し、旧五か村に戻る
18年	4月	中里弥之助（介山）誕生
21年		
22年	1月	羽村、五ノ神村、川崎村が合併し、西多摩村が成立
23年	10月	下田伊左衛門、成進社養蚕伝習所設立
26年	4月	三多摩が神奈川県から東京府に編入
27年	11月	青梅鉄道開通（羽村駅、小作駅開設）
29年	11月	羽村郵便局開局
37年		
39年		
40年	8月	多摩川大洪水、村内田畑多数流出
大正元年	8月	帝国電灯会社により、村内に電灯が点灯
2年	9月	中里介山、都新聞に「大菩薩峠」連載開始
3年		

「明治」と改元
廃藩置県
西南戦争起こる
「郡区町村編制法」「府県会規則」
「地方税規則」（三新法）公布
市制・町村制公布
大日本帝国憲法発布
「教育勅語」発布
日清戦争開戦
日露戦争開戦
南満州鉄道株式会社（満鉄）設立
「大正」と改元
第一次世界大戦開戦
日本、第一次世界大戦に参戦



▲羽村郵便局 昭和41年ごろ
（現在の羽村南郵便局）



▲西多摩小学校 明治後期